

2026年改訂CGコード：知財・無形資産ガバナンスの転換点

「開示」から
「戦略と監督」へ
の格上げ



2021年コード (旧)

補充原則 3-1③ (開示)
補充原則 4-2② (監督)



戦略の説明・
経営資源配分の監督



2026年改訂案 (新)

原則 4-1 / 4-2

↑ ↑
原則 4-5 サステナビリティ
一般の責務



形式的な件数報告からの脱却

単なる特許件数の公表ではなく、
資本コストを踏まえた資源配分の妥当性と、
その検証プロセスが問われます。

実務対応のロードマップと必須要件



IPライフサイクル
全体の戦略化

知財の「創出・取得・強化・
保護・収益化」に戦略的に取
り組む体制を、原則4-1に基
ぎ説明する必要があります。



2027年7月末の
提出期限に向けた準備

改訂後コードに基づくCG報
告書の提出期限を見握え、
取締役会での審議証跡や
KPI体系を整備します。



取締役会に求められる
「不断の検証」

投資仮説の進捗、KPIによる
成果、未達時の原因分析と
再配分の判断プロセスを構
築します。